

謹啓 春暖の候益々御清祥の段大慶至極に存じます。

扱先般鈴木教授を代表者として文部省に申請しました科学研究（総合研究）「中国大陆に於て生成されつつある新語彙・新表現形式の総合研究」に關しましては御分担を快諾頂きましたことを厚く御礼申し上げます。該申請につきましては採否は未だ不明でありますが決定の節は直ちに御しらせ申上げることにて致しておりますので何卒宜しく御願致します。

次に、敝大学に於ては右申請と同時に別に機關研究として「中国語標準語彙の蒐集・整理」なる題目にて研究費を申請致しておりましたが、最近に至りましてこの機關研究にも外部有力学者の御参加を仰ぐことが規則上可能であるばかりでなくその方が望ましいという關係方面の意向が明らかとなりましたので、申請を一部訂正致し先生の御協力をも仰いでその採択が是非実現するよう努力致したいと存じます。

つきましては御職務多忙の折柄はなほだ恐縮であります。が華日辞典の編纂とも密接なる關係を有する本研究の性質を御考慮賜わり本研究にも御協力を賜わりますよう何卒宜しく御願申し上げます。

なお幸に御承允を賜われます場合には御面倒ながら同封承諾書に貴大学長職印と先生の御印鑑を御押捺の上小生宛御返送下さいませよう併せて御願致します。

敬具

先は右御依頼迄

昭和三十一年三月十六日

愛知大学学長 小岩 井 淨
愛知大学教授 鈴木 木 沢 郎

殿

前略

去る十六日付をもつて機関研究「中国語標準語彙の蒐集・整理」申請について御協力頂きたく御承諾書をおねがい致しておりましたところ、早速御高承賜わり御多忙中にもかかわらず御急送頂きましたる段誠に有難く厚く御礼申し上げます。

申請の採否は予断を許されませんが幸い若し実現の上は研究推進については改めてまた何分の御協力を賜わりたく存じております。

まずは右一言御礼言上まで

草々

昭和三十一年三月〇日

小岩井 浄

鈴木 昶郎

殿